

スマート水産業のさらなる推進

政策提言先 水産庁

政策提言の要旨

漁業者の減少や高齢化が進む中、漁業生産額を増大するとともに、社会構造の変化や働き方改革に対応していくためには、生産、流通、販売の各段階においてデジタル化を図るスマート水産業の推進が重要と考えます。

そのため、本県では、漁場予測システムの開発による操業の効率化や自動計量システムの導入による産地市場のスマート化など水産業のデジタル化を推進しているところです。

地域におけるスマート水産業の取組が円滑に進むよう、国において、必要かつ十分な予算を確保するとともに、引き続き、先進的な技術の開発や地域への普及に取り組むことを提言します。

【政策提言の具体的内容】

- 1 操業の効率化や産地市場のスマート化など地域におけるデジタル化の取組が円滑に進むよう、水産業のスマート化に関連する予算の十分な確保を提言します。
- 2 引き続き、国において、先進的な技術開発に先導して取り組むとともに、その技術や知見を地域とも共有し、普及していただくよう提言します。

【政策提言の理由】

- ・ 漁業者の減少や高齢化に加え、漁業生産量の減少が進む中、漁業生産額を増大するとともに、社会構造の変化や働き方改革に対応していくためには、適切な資源管理を進めるとともに、AIやIoTなどの先端技術を活用し、水産業のデジタル化を図るスマート水産業の推進が重要です。
- ・ そのため、本県では、大学や国の研究機関などの有識者で構成する「高知マリンイノベーション運営協議会」を昨年2月に立ち上げ、協議会には「データのオープン化」や「漁船漁業のスマート化」など4つのプロジェクトチームを設置して水産業のデジタル化を進めているところです。
- ・ 具体的には、AIを活用した漁場予測システムの開発や赤潮の発生予測に取り組むとともに、産地市場のスマート化を進めるため、魚の計量結果や写真といった各種情報を関係者間で電子データによって共有する自動計量システムの導入や電子入札の実施に向けて取組を進めているところです。
- ・ こうした本県の取組は、国が進めるスマート水産業の推進と方向性を一つにするものです。昨年度からは、スマート水産業推進事業を活用させていただいており、引き続き、地域と国が連携して取組を進めることで、水産業のスマート化はさらに加速するものと考えます。
- ・ 国においては、水産資源の持続的利用と水産業の成長産業化を両立した次世代の水産業の実現に向け、漁海況情報の精度向上や自動化・省力化等の技術開発などに引き続き先導して取り組んでいただき、その技術を地域へ普及していただくことが重要と考えます。

【高知県担当課】水産振興部 水産政策課